



千賀充能
自民党市議団
・無所属の会

国道247号4車線化
と周辺道路について

問 国道247号鹿島バイパス沿線の商業施設開発が進んでいるため、バイパスの4車線化や鹿島町宮ノ要道路の整備について、県や市はどのように考えているのか。

答 現在県に対して、鹿島バイパス4車線化の早期整備を要望している。また、市道宮ノ要浅井新田1号線は少しでも早く事業を進めていきたい。

鹿島町宅地開発について

問 鹿島町の開発などによる土地活用をどのように進めるか伺う。

答 長田、浜田、鬼越地区について、開発を行う場合の課題整理を事前に行い、事業者等による土地利用が図られるような施策研究を進めたい。土地所有者等からの相談にも答えられるよう準備したい。



国道247号鹿島バイパス

名鉄電車継続による
三河鹿島駅について

問 令和9年度より、みなし上下分離方式で15年の延長をする方針が決まったが、沿線の駅周辺の活性化など、今後の展開を伺う。

答 安全な列車運行のため、老朽化した施設更新を優先したうえで、キャッシュレス化や停車場の改良等を名古屋鉄道と協議し進めたい。駅周辺の整備や宅地開発など長期的な計画をたて、地域の活性化を図ることが大切である。



松本昌成
公明党市議団

保育ソーシャルワーク
(地域連携推進員)の導入

問 児童虐待等の防止策として、本市においても地域連携推進員を配置し、より専門的な支援を行うことについて、市の考えを伺う。

答 本市では、地域連携推進員と同様な役割を果たす専門性を有する保育士や保健師・家庭支援員を配置した、こども家庭センターを令和6年4月に設置した。センターが中心となり、関係機関で構成された協議会において、要支援児童等の支援体制を構築している。引き続き連携を図り、個々の家庭に応じた適切な支援に取り組んでいく。

地域公共交通の課題と
今後の展望について

問 鉄道や路線バス

接続、統一した予約システムやダイヤ調整を導入する計画はあるか。

答 鉄道やバスなどの公共交通を一つの移動手段と捉え、経路検索や予約、決済が一体化されたサービスであるMaasに関して現在、東三河8市町村による東三河版Maasを構築し、運用を進めている。

問 蒲郡市地域公共交通計画の見直しのポイントはどこか。

答 今後は、鉄道、基幹・支線バスの役割分担を踏まえつつ、利便性の高い持続可能な公共交通ネットワークに見直していくことがポイントになる。



鈴木貴晶
自由クラブ

市公式LINEの
活用について

問 市公式LINEに登録している友だちの状況を分析すると様々な事が分かる。友だち登録者数はどれぐらいいるのか。

答 6月1日現在での当市の友だち登録者数は、3万3千644ユーザで人口比43・6%。県内の友だち登録者数では2月時点で9番目であり、東三河では1番多い。この結果からも市公式LINEは当市の強力な情報発信ツールの1つである。

二次交通の確保
について

問 コロナ禍が明け蒲郡の夜の街も賑わいを取り戻してきた。しかしながら肝心の足であるタクシーが捕まらなといった声を頻繁に

耳にする。近隣では豊橋、豊川市がこれらの運転免許取得にあたって補助金を出している。本市における普通二種免許等取得支援補助金についての考えを伺う。

答 特に高齢者や公共交通の空白地域において、二次交通としてのタクシーの重要性は高いものと認識している。今後のタクシー運行の維持・確保に向けて、普通二種免許の取得支援など人材の確保に資する施策の必要性については、まずは実態把握を進め、先進事例等も参考にしながら、持続可能な二次交通の維持・確保対策の中で検討していく。

